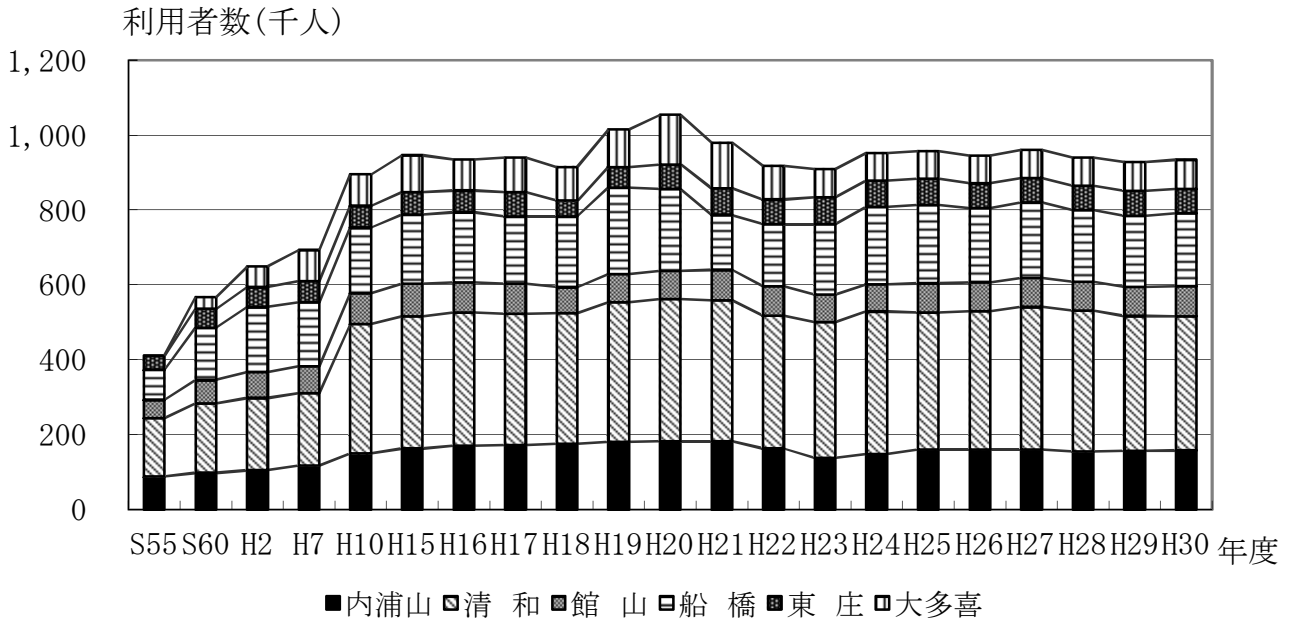


10. 森林レクリエーション

県民の森利用者の推移



—森林レクリエーションの場の充実—

県民の自然とのふれあい志向や健康への関心が高まる中で、森林の持つ保健休養機能の充実が求められている。そこで、健康と癒しの森30選を選定するとともに、県民の森にセラピーコースを設置している。

県民の森は、県下に6か所（内浦山・清和・館山・船橋・東庄・大多喜）設置されており、豊かな自然とのふれあいの場や健全な野外レクリエーション施設として、最近では年間約93万人の利用者に親しまれている。

県民の森は、それぞれの地域の特性を活かし、県民の利用形態及び自然環境の保全に配慮しながら、ログキャビンやキャンプ場の設置等施設の充実を図ってきたところである。平成30年度の主な整備内容は、内浦山県民の森において、ボイラー地下油タンク油面計制御盤箱体修繕、ログキャビン床修繕を実施し、清和県民の森において、高架水槽及び架台撤去工事、ロッジ村キャビン改修工事、キャンプ場トイレ改修工事を実施し、館山野鳥の森において、トイレ修繕、水道管漏水修繕を実施し、船橋県民の森において、トイレの改修工事及び修繕を実施し、東庄県民の森において、見晴台手摺補修工事を実施し、大多喜県民の森のログキャビン空調機改修及び浄化槽ブロー修繕を実施した。

また、各県民の森では、利用者サービスの向上や経費節減等を目的として導入した指定管理者制度による管理を平成18年度から実施してきており、各種イベントの開催、工作体験の常時指導、その他森林に親しめる催し物の開催など、管理者による創意工夫したサービスを行い、利用者の増加に努めている。